

# 議会報告

平成 23 年 12 月度定例議会にて一般質問をさせていただきました。



## 総合計画について

質問	答弁
現在、本市が定める第4次総合計画は、平成 27 年度までの計画、これからのまちづくりの方向性を示す最上位に位置する総合計画をどのように策定していくのか	現在は、第 4 次総合計画、第 2 期基本計画に基づき市政を運営している。 今後も市政の基本となる最上位計画として策定する必要がある。まちの将来像を実現する主体は市民であるその観点を持って検討していく。

## 心の健康に関する施策について

質問	答弁
自殺予防の電話相談窓口“ひらかたいのちのホットライン”の拡充、認知行動療法の取り組み、こころの相談センター設置の要望、本市は、今後医療や健康にかかわる社会資源がますます充実してくる。枚方市を“市民の命と健康を守るNo.1 のまち”に！	ひらかたいのちのホットラインは、週 1 回から週 3 回夜間までに拡充、認知行動療法是は市として市民への周知、情報提供に努めていく。〈市長〉子どもから高齢者まで、すべての市民に対する総合的な健康医療施策が充実した街として「まちのブランド」の発信に取り組んでいく。

## 脳脊髄液減少症について

質問	答弁
脳脊髄液減少症とは、脳と脊髄の周りを満たしている脳脊髄液が、交通事故やスポーツ、転倒などによる衝撃によって体内に漏れ出すもので、思考力の低下、倦怠感などの症状を引き起こす。市として、正しい情報や、相談・検査・治療の行える医療機関の周知・広報の取り組みを要望	市において、相談や検査を希望されている市民に必要な情報を提供できるよう、保健センターのホームページに掲載するとともに、広報等で脳脊髄液減少症に関する正しい理解を広める等、市民への周知に努める。

## 障がい者施策について

質問	答弁
聴覚に障がいのある方の、病気や事故など緊急時の対応策として、24 時間 365 日対応可能な緊急時の手話通訳者派遣、及び緊急時に必要な伝達手段の取り組みについて また、本市にある医療機関へ、医療通訳者の配置の協力を要望	24 時間 365 日対応可能な緊急時の手話通訳者派遣について、救急車を利用された場合に搬送先の病院まで手話通訳を派遣できる「緊急時手話通訳者派遣制度」をこの 4 月にスタート。また緊急時に必要な情報を伝達する手段として活用できる「聴覚障がい者医療コミュニケーションサポート手帳」を昨年 8 月に発行・配布

### がん教育について

質問	答弁
「公益法人日本対がん協会」が制作した教育基金DVD「がんちゃんの冒険」を中学生のがん教育に活用してはと要望したがその後の取り組みについて、また保護者・教職員を対象にしたがん予防セミナーの実施の要望	DVD「がんちゃんの冒険」は市立中学校全 19 校に配布。担当教職員が活用し、研修を深めた後、わかりやすい授業に努めている。 がん予防については、まず教職員を対象に講師を招いて研修会を実施することなどを検討していく。

### 高齢者の包括的なケアについて

質問	答弁
一人暮らしの高齢者が急増している中で、一人暮らしに強い不安感を抱いていらっしゃる方が多い、そういった方々の話し相手になり不安感を解消し、孤独死を防ぐなど傾聴ボランティアの活動が今注目されている、本市での取り組みを要望	介護認定を受けていない場合にはニーズの把握も困難であり、充分でないことから高齢者サポートセンターと連携をとりながら、積極的な活用と周知に努める。 また傾聴ボランティアの養成については社会福祉協議会とも連携し、研修の実施などについて検討していく。

その他、機構改革について・行政改革および市の戦略について・公用車の安全運転管理についてなど 9 項目にわたって質問しました。